



認知症を学び、地域で支えよう！

「認知症サポーター養成講座」について

但陽信用金庫

当金庫では、本部・全営業店の役職員を対象に、営業エリア内5市5町の自治体窓口のご協力を得て「認知症サポーター養成講座」の受講を勧奨しています。

これは、ご高齢者の預金保護とお取引における円滑な対応等を目的に、2009年7月に設置した「高齢者取引対策委員会」の取組みの一貫で、これまでに、581名がサポーター講座を受講しました。(更新日：平成22年7月14日)

【認知症サポーターとは】

なにか特別のことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、職場や地域等で自分のできる範囲で活動します。認知症を自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えていただきます。また、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

この制度は、厚生労働省が推進する事業で、養成講座を受講すると、サポーターの証としてオレンジリングと呼ばれるブレスレットが授与されます。

人は年齢とともに肉体だけでなく精神も衰えます。もちろん全ての高齢者に当てはまるわけではありませんが、加齢とともに、物事を忘れやすくなったり、日によって、意志能力に差がでることもあり得ます。

認知症は、だれでもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症になるかわかりません。ですから、他人ごととして無関心でいることのできない問題です。

認知症サポーターを養成するNPO法人全国キャラバン・メイト(講師役)連絡協議会は、2015年までにサポーターの400万人(3月末現在170万人)達成を目標としています。特に、金融機関やスーパーの職員、マンション管理人等は重要な職種と位置づけられています。

当金庫は、NPO法人但陽ボランティアセンターによる「移送サービス」や渉外担当者による「独居高齢者ケア訪問」あるいは、日本赤十字社の献血サポーターへの登録等の社会貢献活動を行っています。

この度の「認知症サポーター」についても、これらの枠組みの中にしっかりと位置づけ、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりに、地域金融機関の職員として期待される役割を果たしてまいります。

【「認知症サポーターがいる」ステッカー】 【6月8・9日加古川会場／本店での受講風景】



[地元紙に紹介された記事等\(コチラ\)](#)

■ お問い合わせ市町窓口

《 認知症を知り地域をつくるキャンペーン事業事務局 》

～ 認知症を学び 地域で支えよう ～

- 兵庫県 健康福祉部社会福祉局高齢社会課 078-362-9035
- 姫路市 介護サービス第三者評価機構 079-287-3000
- ・ 姫路市 介護保険課 079-221-2923
- ・ 朝来市 地域包括支援センター 079-672-6125
- ・ 加古川市 高齢者・地域福祉課 079-421-2044
- ・ 高砂市 高年・障害福祉課 079-443-9027
- ・ 稲美町 健康福祉課 079-492-9138
- ・ 播磨町 高齢障害福祉チーム 079-435-2361
- ・ 加西市 長寿介護課 0790-42-8728
- ・ 市川町 保健福祉センター 0790-26-1999
- ・ 福崎町 健康福祉課 0790-22-0560
- ・ 神河町 健康福祉課 0790-32-2421

[各地域で開催の受講風景\(コチラ\)](#)